

# 賛助会会報

夢をかたちに！

第31号  
広島県立技術短期大学校  
広島市西区田方二丁目25-1  
TEL 082-273-2201  
発行日 令和3年3月29日

## コマ対戦 4 連勝！

11月28日(土曜日)全日本製造業コマ大戦  
広島広域都市圏場所が、広島市中区地域福祉センターで行われ、今年も生産技術科のチーム「技術短大 OB 湯谷」が優勝し、4連勝となりました。

チームのメンバー同士が2回戦で当たるといふ不運がありましたが、今年も技術短期大学校の実力が、大いに発揮された大会でした。



## 9 ジラジ(広島 FM)放送

12月1日(火曜日)に、広島FMの「大窪シゲキの9ジラジ」の収録があり、12月14日(月曜日)・15日(火曜日)・16日(水曜日)の、21時30分から10分間3回に分けて放送されました。



## IoT セミナー開催

12月3日(木曜日)にIoT人材育成セミナー「製造業のためのデータサイエンス人材育成」を、今回はコロナウィルス感染予防のため、Zoomによるオンラインセミナー形式で実施しました。

講師は、県立広島大学 地域基盤研究機構長 高度人工知能プロジェクト研究センター長 教授 市村匠氏と、特命講師 鎌田真氏でした。

県内企業の在職者を対象として行われ、当校の制御技術科の2年生も参加しました。



## 賛助会会長 西川氏による講話

3月3日(水曜日)に、当校 賛助会 会長 西川 正洋氏(西川ゴム工業株式会社 代表取締役 会長)により、「経営者と語ろう」と題して、講話をしていただきました。その中で、現在の企業経営を取り巻く状況について、DX・IoT・AIの導入が喫緊の課題であり、企業として死活問題となるなど、コロナ禍の状況も含めた内容でした。その後、卒業製作課題の進行状況を見て頂き、また就職についての貴重なアドバイスをたくさん頂きました。

お忙しい中、本当にありがとうございました。



卒業製作課題「プレスおよび樹脂金型の製作」



卒業製作課題「電気自動車の製作」



## 制御技術科の活動レポート

制御技術科の学生たちが活動している Ev-Project が、11月21日（土曜日）に、安芸高田市の TS タカタサーキットで開催された「Ene-1Challenge In Hiroshima」という電気自動車の大会に参加しました。

コロナ禍により、令和2年度の簡易電気自動車の大会が軒並み中止となる中、広島県内で車両製作に取り組んでいるチームが、活動の成果を発揮する場として開催されました。参加チームは、当校の Ev-Project、広島工业大学（Hit-Ev）、広島自動車産業開発技術力向上研究会（Team Heat）の3チームです。

競技は1,500mコース×3周＝4,500mのタイムアタックを行ない、結果は9分13秒816とまずまずの記録でした。

広島工业大学（Hit-Ev）チームは、レース経験豊富なドライバーによる見事な操縦テクニックにより優勝し、当校は残念ながら第2位となりました。



TS タカタサーキットでのレースの様子



Ene-1Challenge In Hiroshima 第2位

## 今年度の車両が完成しました！

制御技術科の学生たちで活動している Ev-Project 車両が完成しました。

制御技術科11期生が来年度8月に行われる、2021 Ene-1 Challenge SUZUKA に向けて、昨年10月から車両製作に取り組み、今年3月に新車両が完成しました。

今年の車両は、スチロール樹脂製の雌型から FRP カウルを製作し、曲面のあるボディ形状に変わりました。

今後は、12期生を中心に来年度の2021 Ene-1 Challenge SUZUKA に向けて、準備を進めていきます。



新車両の FRP カウル



新車両を学生たちが調整



新車両の走行